

2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社Enjin 上場取引所 東  
 コード番号 7370 URL <https://www.y-enjin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本田 幸大  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部部長 (氏名) 平田 佑司 (TEL) 03-4590-0808  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 2023年1月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の業績 (2022年6月1日~2022年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	1,618	16.4	567	10.1	574	5.0	388	3.1
2022年5月期第2四半期	1,390	—	515	—	546	—	376	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年5月期第2四半期	52.57		52.14					
2022年5月期第2四半期	51.54		50.98					

(注) 当社は、2021年5月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	4,832	3,951	81.6
2022年5月期	4,875	3,816	78.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 3,943百万円 2022年5月期 3,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	34.50	34.50
2023年5月期	—	13.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2023年5月期の業績予想 (2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,055	32.3	1,500	24.8	1,498	21.2	966	16.6	129.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年5月期2Q	7,403,800株	2022年5月期	7,388,200株
2023年5月期2Q	67株	2022年5月期	40株
2023年5月期2Q	7,395,937株	2022年5月期2Q	7,314,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和に伴い社会経済活動が正常化に進み、徐々に回復基調にあるものの、世界的な資源・原材料価格の高騰や為替変動等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。このような環境下において、当社は「社会の役に立つ立派な人間を一人でも多く輩出する」ことをミッションとして社会全体の幸福度を高めていけるようなサービスを提供していくために、主に中小・中堅企業、医療機関を対象としたPR支援サービスや顧客とメディア又は決裁者をつなぐプラットフォームサービスを提供するPR事業を展開してまいりました。

当第2四半期累計期間に獲得した顧客数は1,316社（中小・中堅企業1,124社、医療機関192社）、顧客あたりの平均契約単価は1,021千円（前四半期比0.9%増）、顧客あたりの平均契約件数は1.59件（前四半期比1.2%減）となりました。

売上高は、PR支援サービスのうち法人／経営者向けサービスは1,184,961千円（前年同期比9.9%増）、医療機関／医師向けサービスは234,542千円（前年同期比9.8%増）と堅調に成長し、プラットフォームサービスは195,881千円（前年同期比98.6%増）と大きく伸ばいたしました。

売上総利益は、前年同期と同様に売上原価を一定水準に抑え、売上総利益率は83.1%（前年同期81.3%）となりました。営業利益は、前年同期と比較すると、事業規模の拡大に伴う積極採用による人件費等の増加はあったものの、計画通りのコスト配賦により、営業利益率は35.1%（前年同期37.1%）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,618,973千円（前年同期比16.4%増）、営業利益は567,862千円（前年同期比10.1%増）、経常利益は574,316千円（前年同期比5.0%増）、四半期純利益は388,780千円（前年同期比3.1%増）となりました。

なお、当社は、PR事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は4,832,734千円であります。前事業年度末と比較いたしますと、43,035千円減少しております。これは主に、未収入金が42,576千円、その他に含まれている差入保証金が30,307千円増加したものの、現金及び預金が102,240千円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は880,782千円であります。前事業年度末と比較いたしますと、178,201千円減少しております。これは主に、買掛金が16,617千円及び未払法人税等が152,263千円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,951,951千円であります。前事業年度末と比較いたしますと、135,165千円増加しております。これは主に、第1回新株予約権、第2回新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ681千円増加したこと並びに四半期純利益の計上により利益剰余金が133,888千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ102,240千円減少し、3,904,922千円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は197,316千円(前年同四半期は388,189千円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益574,316千円、法人税等の支払額358,976千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は46,492千円(前年同四半期は113,778千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出16,398千円、その他に含まれている敷金保証金の差入による支出30,922千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果支出した資金は253,065千円(前年同四半期は1,737,897千円の獲得)となりました。これは主に配当金の支払額254,342千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年7月13日付「2022年5月期決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2023年5月期における当社の業績に対する影響は軽微であると考えております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,007,163	3,904,922
売掛金	81,815	75,682
棚卸資産	13,429	11,651
未収入金	290,107	332,683
前払費用	68,216	61,353
その他	52	226
貸倒引当金	△17,567	△24,558
流動資産合計	4,443,216	4,361,962
固定資産		
有形固定資産	149,919	151,403
無形固定資産	30,115	32,828
投資その他の資産		
投資有価証券	97,186	95,264
繰延税金資産	55,638	59,798
破産更生債権等	24,353	24,023
その他	99,694	131,477
貸倒引当金	△24,353	△24,023
投資その他の資産合計	252,519	286,540
固定資産合計	432,553	470,772
資産合計	4,875,770	4,832,734
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,739	28,122
未払法人税等	362,430	210,167
前受金	437,990	467,812
賞与引当金	23,414	56,775
その他	188,769	115,240
流動負債合計	1,057,344	878,118
固定負債		
長期未払金	1,639	2,664
固定負債合計	1,639	2,664
負債合計	1,058,984	880,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	903,331	904,012
資本剰余金	873,331	874,012
利益剰余金	2,032,291	2,166,180
自己株式	△133	△218
株主資本合計	3,808,821	3,943,987
新株予約権	7,964	7,964
純資産合計	3,816,785	3,951,951
負債純資産合計	4,875,770	4,832,734

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
売上高	1,390,721	1,618,973
売上原価	260,657	273,608
売上総利益	1,130,064	1,345,365
販売費及び一般管理費	614,433	777,502
営業利益	515,630	567,862
営業外収益		
受取利息	9	19
貸倒引当金戻入額	300	300
物品売却益	74	306
匿名組合投資利益	49,923	7,733
その他	30	341
営業外収益合計	50,338	8,701
営業外費用		
為替差損	140	156
投資事業組合運用損	—	1,921
株式交付費	8,765	60
上場関連費用	8,881	—
その他	1,287	109
営業外費用合計	19,074	2,247
経常利益	546,894	574,316
税引前四半期純利益	546,894	574,316
法人税、住民税及び事業税	168,472	189,696
法人税等調整額	1,436	△4,159
法人税等合計	169,908	185,536
四半期純利益	376,985	388,780

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	546,894	574,316
減価償却費	11,312	20,258
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,141	6,660
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,614	33,360
受取利息	△9	△19
株式交付費	8,765	—
匿名組合投資損益 (△は益)	△49,923	△7,733
売掛金の増減額 (△は増加)	△10,853	6,133
棚卸資産の増減額 (△は増加)	295	2,168
未収入金の増減額 (△は増加)	△36,471	△42,576
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,279	6,862
買掛金の増減額 (△は減少)	△3,317	△16,617
未払金の増減額 (△は減少)	△697	△2,889
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,908	△13,223
前受金の増減額 (△は減少)	47,508	29,822
その他	3,006	△40,250
小計	512,078	556,273
利息及び配当金の受取額	9	19
法人税等の支払額	△123,898	△358,976
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>388,189</b>	<b>197,316</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,512	△16,398
無形固定資産の取得による支出	△3,680	△5,760
匿名組合分配金受取額	1,014	7,733
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
リゾート会員権の取得による支出	—	△1,609
その他	△5,600	△30,457
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△113,778</b>	<b>△46,492</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,736,994	—
ストックオプションの行使による収入	903	1,362
自己株式の取得による支出	—	△85
配当金の支払額	—	△254,342
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,737,897</b>	<b>△253,065</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>2,012,308</b>	<b>△102,240</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,492,362	4,007,163
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>3,504,671</b>	<b>3,904,922</b>

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。